

七宝焼アートヴィレッジだより

◆開館時間 午前9時～午後5時
 ◆今月の休館日 2日(月)・9日(月)・17日(火)・24日(火)・30日(月)
 ◆問合先 ☎443・7588 FAX 443・7122

七宝焼体験教室特別企画「ぶどうの七宝ペンダント」

フルーツのぶどうをイメージした七宝焼を作ります。七宝部分のサイズは、縦約2.5センチ、横約1センチの楕円型です。全体のサイズは、縦約4センチ、横約3センチです。

時 9月18日(水)・19日(木)・21日(土)・22日(日)・27日(金)のいずれか一日

午前9時30分～11時30分

交流工房

40人(先着順)

2,500円

9月1日(日)から、窓口もしくは電話にて受け付けます。



七宝歴史講座

七宝焼の歴史について一から学ぶ講座です。

テーマ「明治の七宝」

時 9月29日(日)

午後2時～3時30分

交流ホール

30人(先着順)

当館学芸員

無料

9月1日(日)から、窓口もしくは電話にて受け付けます。

Let's 職人体験

素地体験コース「お皿を作ろう」

直径15センチの円板を叩いてお皿を作ってみましょう。

時 9月28日(土)

午前10時～午後3時

素地工房

3人(先着順)

2,500円

9月1日(日)から、窓口もしくは電話にて受け付けます。

植線体験コース「有線七宝のブローチを作ろう」

直径5センチの丸い銅板に銀線で作ったパーツを並べて簡単な植線体験。七宝釉薬を焼付けて仕上げます。

時 9月28日(土)

午前10時～正午、午後1時30分

～3時30分

交流工房

各回10人(先着順)

2,500円

9月1日(日)から、窓口もしくは電話にて受け付けます。

伝統文化映画会

「神々のふるさと 出雲神楽」

陰暦の10月に八百万の神々が集まることから、神無月を神在月と呼ぶ出雲。出雲神楽の秘密に迫ります。(上映時間41分)

時 9月7日(土)・8日(日)

午前11時～午後2時

交流工房

各回30人(先着順)

¥ 無料

秋期企画展「明治七宝の美—二人のナミカワを中心に—」

日本の七宝は明治時代に大きな

技術的な発展を遂げ、海外の展覧会などを通じて広く世界中に知られることとなりました。

多くの人々から注目を浴びた明治時代の日本の七宝作品を通して、近代の日本の七宝の歴史を振り返ります。

20周年事業の一環として、先着500人(有料観覧者)にオリジナルグッズをプレゼントします。

時 9月21日(土)～11月4日(月・振)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

企画展示室

¥ 大人310円(250円)

小中学生100円(50円)

※()内は20人以上の団体

星空観察会

天体望遠鏡を使って、星空観察をしてみませんか?

時 10月12日(土)

午後6時～7時

※天候不良時は中止となります。

芝生広場

小学生以上

30人程度(先着順)

無料

9月7日(土)午前9時から、窓口もしくは電話にて受け付けま

※一回あたり一家族の申込みです。
代理申込みは不可です。

七宝講座Ⅰ・Ⅱ(後期)

七宝焼制作を基礎から楽しく、しっかり学べる講座です。七宝焼の歴史についての講義やアクセサリー作りを行います。

講座Ⅰ入門編

時 10月11・18日、11月1日、12月13日、1月17日、2月14日、3月14日(全て金曜日)
午後1時30分～3時30分
交流工房

¥ 7,500円(7回分)

講座Ⅱ講座Ⅰ修了生対象

講座Ⅰの修了生を対象とし、高度な技術を用いた七宝焼作品作りを学びます。

時 11月2日、12月14日、1月11日、2月8日、3月8日(全て土曜日)

午前9時30分～11時30分

交流工房

10,000円(5回分)

各講座20人(先着順)

9月1日(日)から、窓口もしくは電話にて受け付けます。



あま地産地消 ふれあい軽トラ市

七宝焼アートヴィレッジ敷地内に於いて、市近郊で生産された野菜などを生産者が販売する軽トラ市を開催しています。天候や販売状況等により終了時間が早くなることもあります。

日 時 毎週日曜日 午前7時～9時

カメラルポ

寄附のお礼

このたび岐阜信用金庫様より、株式会社大智建設様のご意向(ぎふしんSDGs私募債(地域創生型))にもとづき、美和中学校のために、CDラジカセの寄附がございました。

ここにお礼を申し上げますとともに、本市の教育行政のために、有効に活用させていただきます。



寄附のお礼

このたび岐阜信用金庫様より、創立100周年を記念して、美和地区小中学校のために、教育備品の寄附がございました。

贈呈式に出席された、岐阜信用金庫の執行義徳^{しぎようよし のり}常務理事からは「子どもたちがすくすく育つための一助としていただきたい」とお言葉をいただきました。

ここにお礼を申し上げますとともに、本市の教育行政のために、有効に活用させていただきます。

